

問1 弥生時代の社会における銅鐸の特徴や役割について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸との交易を円滑に進めるために、重さに応じた価値を持つ貨幣として使われた | 2. 鉄器よりも硬度が高いという性質を活かし、木を伐採するための工具として普及した | 3. 次第に大型化し、表面には当時の生活や自然を反映した装飾が施されるようになった | 4. 各個人の家の中に置かれ、日常的に家族の健康を祈るための仏具として使われた |
|--|---|---|---|

問2 弥生時代の代表的な遺跡である佐賀県の吉野ヶ里遺跡について、その集落の構造を説明した記述として最も適切なものを次から選びなさい。（2023年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 交易を円滑にするため、海岸線に沿って長い石垣が築かれ、港の機能を中心としている。 | 2. 大規模な公共事業を行うため、周囲の山を削って平地を作り、規則正しく住居が並んでいる。 | 3. 外敵の侵入や攻撃を防ぐため、集落の周囲に深い溝（濠）を掘り、さらに柵を巡らせている。 | 4. 収穫した稲をネズミや湿気から守るため、床を高くした高床倉庫が集落の中心に配置されている。 |
|---|---|---|---|

問3 福岡県の志賀島で発見された金印には、正方形の印面に「漢委奴国王」の五文字が刻まれており、つまみの部分は蛇を模した形状（蛇鈕）となっています。この金印を奴国の王が後漢の皇帝から授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 高山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. モンゴル民族の侵攻に対抗するため、大陸の軍隊に日本列島までの援軍を要請したため | 2. 中国の皇帝から地位を認められることで、自らの権威を高めて周辺の勢力を抑えようとしたため | 3. 卑弥呼が「親魏倭王」の称号を得るための事前交渉として、大陸との友好関係を築くため | 4. 大陸から仏教を公式に導入するための許可を得て、国内の宗教的な統一を図ろうとしたため |
|--|--|---|--|

問4 弥生時代に製作された青銅器のうち、釣鐘のような形をしており、表面には当時の生活の様子や動物の文様が刻まれている「銅鐸（どうたく）」は、主にどのような目的で用いられたと考えられていますか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--------------------------------|---|
| 1. 集落間の戦いにおいて、敵を攻撃したり威嚇したりする武器として用いられた | 2. 収穫した穀物を煮炊きしたり、保存したりするための調理器具として用いられた | 3. 作物の豊かな実りを祈るなどの祭りの道具として用いられた | 4. 衣服を織るための繊維を整えたり、糸を紡いだりするための機織り用の道具として用いられた |
|--|---|--------------------------------|---|

問5 弥生時代に稲作が広まったことで、土地や水をめぐる争いが起こるようになりました。集落を外敵からの攻撃から守るために、周囲に深い堀を掘り、木の柵を設置した集落を何と呼びますか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 高床倉庫 | 2. 環濠集落 | 3. 三内丸山遺跡 | 4. 石舞台古墳 |
|---------|---------|-----------|----------|

問6 3世紀の日本の様子を伝える中国の歴史書『魏志倭人伝』の記述に基づき、当時の社会や統治の状況として正しい説明はどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 1. 聖徳太子が冠位十二階を定め、家柄にとらわれず才能のある人物を役人に登用した。 | 2. 墾田永年私財法が制定され、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることが認められた。 | 3. 唐から来日した鑑真が仏教の戒律を伝え、国内の寺院の整備が進められた。 | 4. 邪馬台国の女王である卑弥呼が、乱れていた多くの国をまとめ、約30の国を従えていた。 |
|---|--|---------------------------------------|--|

問7 弥生時代の遺跡で見つかる特徴のうち、当時の社会において集団間の緊張や争いがあったことを最も直接的に示しているものはどれですか。（2021年 愛知県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 収穫した稲の穂を効率よく摘み取るために使用された、平らな石に穴を開けた石包丁 | 2. 湿気やネズミの被害から穀物を守るために、柱にねずみ返しを設けた床の高い建物 | 3. 集落を二重、三重に囲む深い堀や、尖った杭を並べた逆茂木（さかもぎ）の跡 | 4. 祭祀や宝物として用いられたと考えられる、複雑な文様が描かれた青銅製の銅鐸や銅鏡 |
|---|--|--|--|

問8 弥生時代の生活の様子を描いた資料には、人々が稲の収穫作業を行い、その背景に柱の高い建築物が建てられている様子が見られます。収穫したコメを湿気や害獣から守るために、床を高くし「ネズミ返し」と呼ばれる板を柱に取り付けるなどの工夫を施したこの建築物の名称を答えなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|-------|---------|---------|
| 1. たて穴住居 | 2. 貝塚 | 3. 環壕集落 | 4. 高床倉庫 |
|----------|-------|---------|---------|

問9 1世紀に倭の奴国の王が中国の後漢へ使者を送り、光武帝から金印を授かった背景として、当時の小国の王たちの目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---------------------------------------|
| 1. 中国の皇帝から地位を認められることで、自国の権威を高め、周囲の国々に対して有利に立つため。 | 2. 中国からの軍事支援を直接受け、近隣諸国を武力で一気に統一しようと考えたため。 | 3. 遣隋使や遣唐使のように、進んだ律令制度を学び取り、日本独自の憲法を制定するため。 | 4. 仏教などの新しい宗教を中国から導入し、国民の精神的な団結を図るため。 |
|--|---|---|---------------------------------------|

問10 佐賀県に位置する弥生時代の代表的な遺跡では、居住エリアの周囲を二重の濠（ほり）や高い柵が囲んでおり、外敵を監視するための物見櫓（ものみやぐら）の跡も見つかっています。この遺跡の名称と特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------|-----------------------|----------------------|--------------------------|
| 1. 登呂遺跡 — 仏教寺院が建立された集落 | 2. 三内丸山遺跡 — 縄文時代の巨大集落 | 3. 吉野ヶ里遺跡 — 大規模な環濠集落 | 4. 板付遺跡 — 広場に川が流れる開放的な集落 |
|------------------------|-----------------------|----------------------|--------------------------|

問11 佐賀県の吉野ヶ里遺跡などの墳丘墓から出土する「細形銅剣」をはじめとした青銅器の性格について述べた文として、歴史的な事実と合致するものはどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|---|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 弥生時代を通じて、一貫して実戦での殺傷能力を追求した武器であった | 2. 調理や食事を円滑に進めるために開発された、一般庶民の日常生活用具であった | 3. 富や権力を象徴し、村々のまとまりを強めるための儀式や祭りに用いられた | 4. 鉄器に比べて硬度が高かったため、土木工事の道具として普及した |
|-------------------------------------|---|---------------------------------------|-----------------------------------|

問12 弥生時代に大陸から伝わり、日本の社会を大きく変化した稲作の広がりについて述べた文として、正しいものはどれか。（2023年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 稲作は日本全土に均一に広まり、北海道や沖縄においてもこの時期に大規模な水田開発が行われた。 | 2. 稲作は九州から始まり、東北地方まで広がったが、当時の気候や環境の影響もあり北海道や沖縄を除く地域に定着した。 | 3. 稲作の普及により、それまで使われていた打製石器がすべて消失し、すべてが青銅器や鉄器に置き換わった。 | 4. 稲作が伝わった直後に大王（おおきみ）と呼ばれる強力な支配者が現れ、全国の開墾を命令した。 |
|--|---|--|---|